

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	まるんなひろば		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 12日		～ 2025年 3月 24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	2025年 2月 12日		～ 2025年 3月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 13日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	年齢や障害種別を問わず、それぞれのニーズに合わせ幅広く子どもの受け入れを行っている。	療育内容を工夫し、集団療育を行いながらも個別の課題に焦点をあてられるようにしている。重心医ケア児に対しては長時間（6時間）支援・入浴支援も行っている。保育士、作業療法士、公認心理師による専門的支援を実施している。これまでは重症心身障害児対象の事業所として運営していたが、公募に応募し、2024年12月から運営形態を変更した。	研修参加、他事業所との実践交流を行う。子どもの姿から学び、療育内容を検討し、療育内容の充実をはかる。子どもの成長に合わせて快適に入浴できるよう、お風呂を工夫する。
2	医療的ケアが必要な児童の受け入れを行っている。	医療連携体制加算を用いて、併設の訪問看護ステーションの看護師が連携して療育を行っている。訪問看護ステーションと合同の打ち合わせや会議を行っている。	医療的なケアが必要であっても集団生活や遊びの経験ができるように事業所の特徴を周知することで、必要な方に必要な支援が届くようにする。
3	つり遊具（ポニースイング、オーシャンスイングなど）が吊れるプレイルームや水遊び（プール）、砂遊びが行える園庭がある。	子どもの発達段階に合わせた療育内容になるように遊具や遊び、遊び方を選択するようにしている。	振り返りや打ち合わせで話し合ったり、療育内容に焦点をあてた会議を行うなどして環境を充分にいかした療育内容になるように検討していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援を求めている児童や家族とつながる機会が持てていない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出生数の低下</li> <li>・訪問で利用できるサービスの増加</li> <li>・事業所数の増加</li> <li>・周知の不足</li> <li>・利用者がつながるしくみがない</li> <li>・送迎を行っていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営方法の検討</li> <li>・おあそび会の実施</li> <li>・居宅訪問型児童発達支援の活用</li> <li>・周知方法の検討</li> </ul>
2			
3			